

第 2 1 回 鹿児島県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和 6 年 3 月 6 日（水） 1 5 時～ 1 6 時 4 5 分

開催場所：かごしま国際交流センター 多目的ホール

出席者：委員 9 名

日本年金機構 8 名

議事

- 1 開 会 鹿児島北年金事務所事務局
- 2 あいさつ 鹿児島北年金事務所長
- 3 委員等紹介
- 4 議事

議題 1 令和 5 年度事業実施経過報告

【資料 鹿児島県地域年金事業運営調整会議資料 2】

事務局から P 1 ～ P 2 3 までを説明。各委員から意見・質問・要望をいただき、今後の取組に活かしていくこととしました。

議題 2 令和 6 年度事業計画（案）について

【資料 鹿児島県地域年金事業運営調整会議資料 2】

事務局から P 2 4 ～ P 3 0 までを説明。各委員から意見・質問・要望をいただき、今後の取組に活かしていくこととしました。

【主な意見・要望・質問】

○議題 1 令和 5 年度事業実施経過報告

（片平委員：社会保険労務士会）

1 2 月までの年金セミナー開催実績で高校における開催が少ない印象がありますが、1 月以降の高校における開催状況を教えてください。

（事務局）

高校 3 年生が対象の年金セミナーはほぼ 2 月に開催していますので、昨年度と同じく約 3 0 校になるものと思います。

（片平委員：社会保険労務士会）

社会保険労務士会が実施している出前授業は、県教育庁から各高校に周知していただき、高校からの実施依頼が増えています。県教育庁と連携を深めていくと、高校における実施が広がっていくものと思います。

(宿口委員：年金協会)

年金は非常に大事な制度であるので、若いうちから、中学生、高校生、学生を対象とした全国的なカリキュラムや取組が必要であると思います。

(事務局)

いただきましたご意見については、機構本部と情報共有していきます。年金事務所としては年金事務所として出来ることを、来年度も続けてまいりたいと思います。

(紺屋委員の代理 河東様：鹿児島県教育庁)

年金制度については、公民や家庭科の教科で社会保障制度の一つとして学習指導要領の中にありますので、学校の授業では必ず扱っています。また、小学校高学年や中学生に対し年金制度の簡単な内容の説明を聞く機会が定期的にあれば、年金は大事なものであると考えられると思います。

(本山委員：九州厚生局)

国民への年金制度の周知広報は厚生労働省が所管しており、同省ホームページにも年金に関するYouTube 動画やアニメーションを掲載しています。

また、九州各県の取組事例を紹介しますと、宮崎では年金事務所が各大学で年金相談を行い、学生納付特例申請書の提出があると、その分保険料の納付率にも反映されますので、鹿児島でもヒントになると思います。佐賀では大学で学生にマイナンバーカードと携帯電話を持参してもらい、そのまま「ねんきんネット」に登録を行い、年金記録や学生納付特例を確認してもらう。これも大学や専門学校で実施すると効果があると思いましたので、ご案内いたします。

(事務局)

宮崎と佐賀の取組については、参考にさせていただきたいと思います。

(有村委員：社会保険委員会連合会)

年金加入率はほぼ100%であるのに、事務局から納付率80%を向上させるという説明がありましたが、内容を教えてください。

(事務局)

国民年金の第1号から第3号被保険者まで全て合わせると納付率99%ですが、納付率80%とは第1号被保険者の部分であり、半分以上の方が失業されて年金を納めることが困難な方が多く、この状況の中で納付率80%台を達成できましたということです。

(有村委員：社会保険委員会連合会)

SDGsの目標に関連して学校において探求学習が進んでいると思いますが、人生100年時代を迎えるにあたり、年金を中学生、高校生の探求学習のテーマにする動きはありますか。

(紺屋委員の代理 河東様：鹿児島県教育庁)

探求学習のテーマはそれぞれ生徒が決めていますが、探求学習の発表会に参加してみると、今は環境保全などのテーマが多いような感じがします。

(有村委員：社会保険委員会連合会)

年金セミナー受講者について、コロナ前とコロナ後で変化を感じることはありましたか。

(事務局)

年金セミナーの講師は高校生や学生に年齢に近い若手職員が務めていて、年金制度の説明を行う中で老齢年金のほかに障害年金、遺族年金もあることが分かり、受講後は良いイメージに変わりましたという方が8割、9割になりますので、コロナ前と後で変わらないと思います。

(宮浦委員：鹿児島商工会議所)

鹿児島大学、鹿児島国際大学など規模の大きい大学で、年金セミナーを開催することができればよいと思います。

(有村委員：社会保険委員会連合会)

社会保険委員会連合会では定年を控えられた方に年金制度も含めた総合的なセミナーを開催しています。

(事務局)

機構としても協力できる部分や実施できる部分があれば、協力してまいりたいと思います。

(紺屋委員長：熊本大学大学院教授)

事業実施経過報告については、皆様の認めをいただきました。ありがとうございます。

○議題2 令和6年度事業計画（案）

(本山委員：九州厚生局)

九州厚生局が市町村に赴いた際に、市町村から窓口における年金手続きに関し、年金事務所と連携がしづらいとの話を伺いました。

(事務局)

市町村で対応できない分については、年金事務所をご案内していただくということをお願いしていますので、住民の方にきちんと伝えるよう確認をしてみたいと思います。

(宿口委員：年金協会)

市町村国民年金課と年金事務所との業務の棲み分けを、簡単に教えてください。

(事務局)

市町村窓口では国民年金の第1号被保険者の方の届出について、受付をお願いしています。

(北原委員：協会けんぽ)

年金相談が予約制になり、お客様が待ち時間が無いことは良いことであると思います。また、本当に相談に行きたくても行けない人たちを取り残してないか、という点が気になっています。

(事務局)

予約相談であれば、年金機構としても事前に準備ができますので、間違いが少なくなり、相談時間も短くなりますし、お客様にとりましてもほぼお待たせ時間無しで対応ができています。

なお、相談の予約については、必ずしもすぐに取りれる訳ではなく、予約なしでは30分以上お待ちいただくこともないとは言えませんので、できる限りそういうことにならないように対応してまいりたいと思います。

(北原委員：協会けんぽ)

年金機構が行う学校での年金セミナーの場で、協会けんぽの健康保険制度の話についても、一緒にやっていただけると非常にありがたいと思います。以前、兵庫で勤務していた時、年金事務所に相談をしたことがありましたが、コロナ禍となり、実現しませんでした。

(事務局)

他の所長とも協議して考えていきたいと思います。実は前任の大分でも同様のご提案を受けたことがありましたが、その時はお断りしたような気がします。

(川越委員：社会保険協会)

現在、大隅地域には地域年金推進員がいないが、年金セミナーは話を聞くと理解が深まるので、高校であれば公民部会に、大学であれば専門の先生にアプローチしてゼミに入れてもらえばいいと思います。

(事務局)

大隅半島の鹿屋管内の高校は全部、来年度の年金セミナーについてアプローチができていますので、開催する予定にしています。

(紺屋委員長：熊本大学大学院教授)

令和6年度事業計画（案）についても、これで了承いただいたということで、皆様、ありがとうございました。

5 閉 会